

光と空気と水を生かす

Always With You



第87期 事業報告書

平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

 **ダイダン**株式会社

株主の皆様へ



代表取締役 会長執行役員

菅谷 節



代表取締役 社長執行役員

北野 晶平

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

この度の熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、第87期(平成27年4月1日~平成28年3月31日)における事業の概要についてご報告申し上げます。

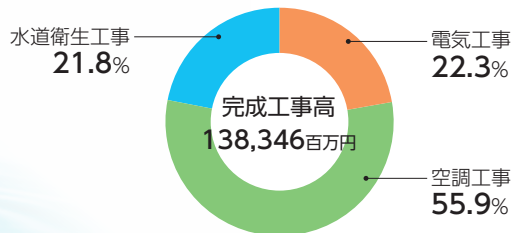
当連結会計年度の世界経済は、米国では雇用情勢の改善を背景に個人消費を中心とした拡大基調が続くも、アジアでは中国経済の減速基調に加え、資源価格の下落等により新興国の景気低迷も長期化し、全体としては停滞状況が続く結果となりました。一方、我が国経済は、企業収益が高水準を維持するなか、良好な雇用環境の持続により力強さを発揮すると期待されましたが、昨年末以降の円高進行、株式相場の混乱が企業の景況感を下押しするなど、先行き不透明なものとなりました。

建設業界におきましては、堅調な企業収益を背景に民間設備投資の拡大に期待しましたが、底堅く推移したものの景気の先行き不透明感から、本格的な回復迄には至りませんでした。

当社グループの受注工事高は、前連結会計年度比9.0%増(118億7千万円増)の1,435億3百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事19.3%、空調工事58.5%、水道衛生工事22.2%であり、主な受注工事は、TGMM芝浦プロジェクトA棟・ホテル棟 空調工事、新南海会館ビル 電気・空調・水道衛生工事、帯広厚生病院 水道衛生工事、岩国飛行場低層住宅(1~17工区) 空調・水道衛生工事、ジャパンディスプレイD3ライン新工場 水道衛生工事などであります。

完成工事高につきましては、前連結会計年度比13.6%増(165億6千6百万円増)の1,383億4千6百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事22.3%、空調工事

セグメント別完成工事高比率



55.9%、水道衛生工事21.8%であり、主な完成工事は、日亜化学工業新K-1棟 空調・水道衛生工事、神戸大学医学部附属病院低浸襲総合診療棟 電気・空調・水道衛生工事、帝京大学八王子新校舎1期 空調工事、広島赤十字・原爆病院 空調工事、医療法人相生会福岡みらい病院 空調・水道衛生工事などです。

この結果、次期への繰越工事高は、前連結会計年度比5.6%増(51億5千7百万円増)の977億2千7百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度比43.8%増(19億8千9百万円増)の65億3千7百万円となりました。経常利益は前連結会計年度比38.9%増(18億9千5百万円増)の67億7千万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比45.4%増(13億2千7百万円増)の42億4千8百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、政府の景気対策等の効果が引き続き見込まれ、日本経済は緩やかに持ち直すとみられるものの、海外経済の減速などから不透明感の強い状況が続くことが予想されます。

建設業界におきましては、堅調な企業業績を背景に建設需要が底堅く推移するものと思われませんが、不安定な世界情勢に対する懸念もあり、特に東京オリンピック以降の日本経済は不透明となっています。

このような状況を踏まえ、当社は平成28年度から平

成30年度までの3カ年を対象とする中期経営計画「お客様に必要な環境を創造し提供するダイダダン～Always With You.～」を策定しました。

本計画を7年後の創業120周年を見据えた長期ビジョンを実現するための基盤強化、変革に向けた第1ステップと位置付け、計画の達成に向けて総力を挙げて取り組んでまいります。

創業120周年を見据えた3カ年計画のビジョン

- I. 【基盤技術】お客様の環境構築パートナー
- II. 【事業創出】光と空気と水の技術を生かした事業領域の創出
- III. 【経営基盤】市場変化に対応できる経営基盤の確立
- IV. 【企業責任】社会的要求に応える企業

なお、当社は、北陸新幹線の設備工事の入札に関し、独占禁止法に違反する行為があったとして、平成27年10月9日付で公正取引委員会より排除措置命令及び課徴金納付命令を受け、課徴金を納付いたしました。

当社グループといたしましては、本件を厳粛に受け止め、二度とこのような事態を招かぬよう、更なるコンプライアンス体制の強化と再発防止策の徹底を図り、信頼の回復に努めてまいります。

今後とも株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

工事部門	前期繰越工事高	受注工事高	完成工事高	次期繰越工事高
電気工事	17,530(百万円)	27,700(百万円)	30,805(百万円)	14,425(百万円)
空調工事	52,797	83,880	77,298	59,379
水道衛生工事	22,241	31,922	30,242	23,921
計	92,569	143,503	138,346	97,727

光と空気と水を生かす

ダイダンは、建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルにコントロールして、快適空間を創造します。



電気設備

- 電力設備
- 情報通信設備
- 防災設備
- 特殊電気設備



空調設備

- ビル空調設備
- 産業空調設備
- 自動制御設備
- 特殊空調設備



給排水衛生設備

- 供給設備
- 処理設備
- 消火設備
- 特殊衛生設備

第87期(2015年度)完成工事



広島赤十字・原爆病院
空調工事



神戸大学医学部附属病院低浸襲総合診療棟
電気・空調・水道衛生工事



帝京大学八王子新校舎1期
空調工事



日亜化学工業新K-1棟
空調・水道衛生工事



医療法人相生会福岡みらい病院
空調・水道衛生工事

第87期(2015年度)受注工事

TGMM芝浦プロジェクトA棟・ホテル棟 空調工事

新南海会館ビル 電気・空調・水道衛生工事

帯広厚生病院 水道衛生工事

岩国飛行場低層住宅(1~17工区) 空調・水道衛生工事

ジャパンディスプレイD3ライン新工場 水道衛生工事

ダイダンの「スマート化」への取り組み

ダイダンは、国策として求められているZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)に対応するために、総合設備業として培ってきた技術力を活かして、省エネルギーに関する技術開発を進めています。技術研究所に新研究棟を建設して省・創・蓄エネルギーの検証評価を実施、また、研究棟をパレトリニューアルしてスマート改修の検証評価を実施してきました。そして今年、第三の取り組みとして九州支社をエネフィス九州として建て替え、実際のオフィスとして運用する建物で検証評価を行います。

2013

技術研究所 新研究棟建設



- 太陽熱利用など、最先端の省・創・蓄エネルギー技術を導入
- エネルギー資源の有効活用と自立安定性を実現する技術の実証の場
- ダイダンの開発技術のプレゼン・展示施設

2015

技術研究所 研究棟 パレトリニューアル



- 研究棟の省エネルギー改修(パレトリニューアル)を実施
- 建物間の熱融通を可能とする技術などを導入
- 省エネルギーと快適性を両立させる次世代オフィスを構築

2016

九州支社・スマートエネルギーラボの建設



- 人と地球が共存できるオフィス
- 産学共同で計画/評価



主な設備・技術
地中熱採熱技術
躯体蓄熱
放射パネル
CEILING FREE
(設備機器一体型ユニット)
ion-DROP
(粉じん持込防止システム)
直流給電システム

「エネフィス九州」における「ZEB」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)の実現に向けた検証

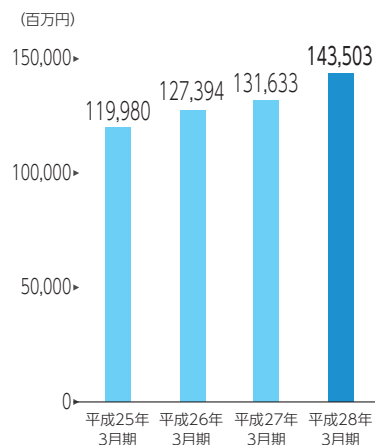
オフィスで働く人が健全で活力ある知的生産を行うために様々な技術を集約しました。

人と地球が共存できるオフィス

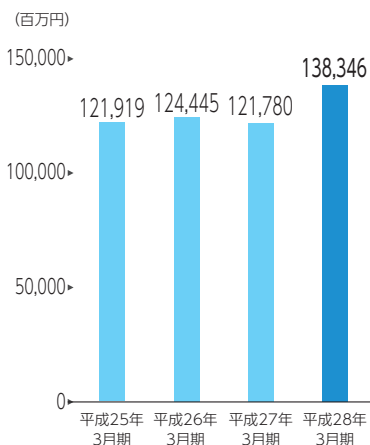
- 再生可能エネルギーの有効利用
- 光と空気と水をデザイン&コントロール
- 快適な室内空間

財務ハイライト(連結)

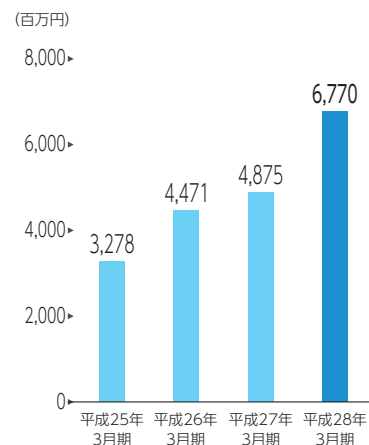
受注工事高



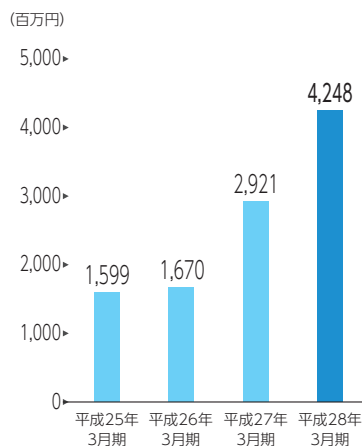
完成工事高



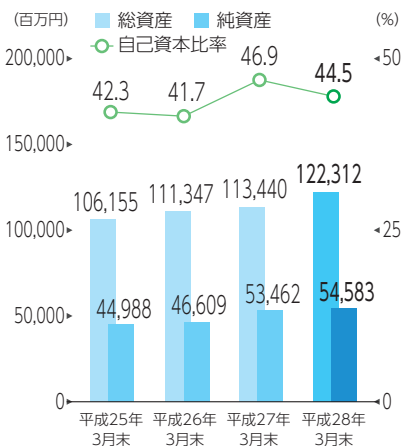
経常利益



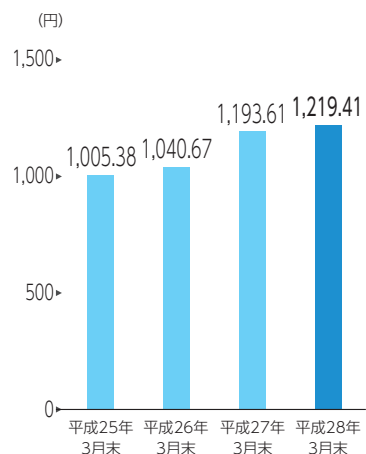
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり純資産額



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	23,563	24,385
受取手形・完成工事未収入金	56,157	49,511
電子記録債権	8,095	3,290
未成工事支出金	385	424
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,392	1,278
その他	2,117	1,945
貸倒引当金	△ 7	△ 5
流動資産合計	91,704	80,831
固定資産		
有形固定資産	4,178	3,919
無形固定資産	594	156
投資その他の資産		
投資有価証券	16,543	17,494
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	7,866	9,633
その他	1,612	1,595
貸倒引当金	△ 188	△ 190
投資その他の資産合計	25,836	28,533
固定資産合計	30,608	32,609
資産合計	122,312	113,440

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	42,067	37,937
短期借入金	4,519	4,379
未払法人税等	1,622	990
未成工事受入金	2,794	1,500
完成工事補償引当金	81	85
工事損失引当金	628	480
独占禁止法関連連損失引当金	—	390
環境対策引当金	2	—
その他	9,717	6,550
流動負債合計	61,434	52,312
固定負債		
長期借入金	1,401	1,583
繰延税金負債	3,208	4,237
退職給付に係る負債	1,376	1,377
環境対策引当金	—	107
海外投資損失引当金	5	6
長期未払金	303	352
その他	0	0
固定負債合計	6,295	7,665
負債合計	67,729	59,978
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	39,588	36,186
自己株式	△ 674	△ 669
株主資本合計	48,203	44,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,326	6,797
為替換算調整勘定	20	39
退職給付に係る調整累計額	△ 169	1,592
その他の包括利益累計額合計	6,176	8,429
非支配株主持分	203	225
純資産合計	54,583	53,462
負債・純資産合計	122,312	113,440

POINT 連結貸借対照表

流動資産は、91,704百万円となり、10,872百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の増加(6,645百万円)及び電子記録債権の増加(4,804百万円)等によるものです。

固定資産は、30,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,000百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券の減少(950百万円)及び退職給付に係る資産の減少(1,766百万円)等によるものです。

流動負債は、61,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,121百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の増加(4,130百万円)、未払法人税等の増加(632百万円)及び未成工事受入金の増加(1,294百万円)等による

ものです。

固定負債は、6,295百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,369百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少(182百万円)、繰延税金負債の減少(1,028百万円)等によるものです。

純資産は、54,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,120百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(3,401百万円)が、その他有価証券評価差額金の減少(470百万円)及び退職給付に係る調整累計額の減少(1,762百万円)等を上回ったことによるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	(平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
完成工事高	138,346	121,780
完成工事原価	121,632	107,216
完成工事総利益	16,713	14,563
販売費及び一般管理費	10,176	10,016
営業利益	6,537	4,547
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	250	209
不動産賃貸料	34	34
受取保険料	106	105
為替差益	—	139
その他	5	3
営業外収益合計	410	507
営業外費用		
支払利息	144	157
支払保証料	11	6
為替差損	11	—
その他	9	14
営業外費用合計	177	179
経常利益	6,770	4,875
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	4	—
環境対策引当金戻入益	—	105
独占禁止法関連損失引当金戻入益	47	—
特別利益合計	54	107
特別損失		
減損損失	—	5
固定資産除却損	1	105
投資有価証券評価損	18	5
ゴルフ会員権評価損	2	0
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	92
特別損失合計	22	210
税金等調整前当期純利益	6,802	4,771
法人税、住民税及び事業税	2,405	1,796
法人税等調整額	150	45
法人税等合計	2,556	1,842
当期純利益	4,246	2,929
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 2	7
親会社株主に帰属する当期純利益	4,248	2,921

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	(平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	611	2,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 493	△ 401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 894	△ 2,344
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 45	78
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 822	△ 239
現金及び現金同等物の 期首残高	24,358	24,598
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△ 0
現金及び現金同等物の 期末残高	23,536	24,358

POINT 連結損益計算書

完成工事高は、前連結会計年度比16,566百万円増の138,346百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高の増加及び、完成工事総利益率の改善により、前連結会計年度比2,150百万円増の16,713百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前連結会計年度比1,989百万円増の6,537百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加を受け、前連結会計年度比1,895百万円増の6,770百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として、独占禁止法関連損失引当金戻入益47百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する当期純損失を控除した結果、前連結会計年度比1,327百万円増の4,248百万円となりました。

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ822百万円減少し、23,536百万円(3.4%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は611百万円(前連結会計年度は2,427百万円の資金の増加)となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加、未成工事受入金の増加等の資金の増加要因が、売上債権の増加等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は493百万円(前連結会計年度は401百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は894百万円(前連結会計年度は2,344百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

株式の状況／会社の概要

(平成28年3月31日現在)

発行株式数及び株主数

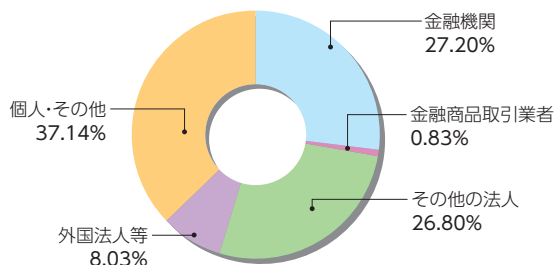
- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 45,963,803株
- 株主数 3,566名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	2,004	4.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,680	3.76
ダイダン従業員持株会	1,554	3.48
大阪大元持株会	1,474	3.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,269	2.84
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,044	2.34
株式会社みずほ銀行	959	2.15

- (注) 1. 当社は、自己株式1,368,636株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式1,368,636株を控除して計算しております。

所有者別分布



会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,493名

役員一覧 (平成28年7月1日現在)

代表取締役 会長 執行役員	菅 谷 節
代表取締役 社長 執行役員	北 野 晶 平
取締役 副社長 執行役員	藤 澤 一 郎
取締役 副社長 執行役員	太 田 隆
取締役 常務執行役員	櫻 井 丈 士
取締役 常務執行役員	古 新 亮 英
取締役 常務執行役員	池 田 隆 之
取締役 執行役員	立 石 知 己
取締役 取締役	吉 田 宏
取締役 取締役	松 原 文 雄
常勤 監査役	滝 谷 政 春
常勤 監査役	大 崎 秀 史
監査役	河 野 浩 二
監査役	西 内 義 充
主席 執行役員	吉 田 一 也
主席 執行役員	荻 野 憲 雄
上席 執行役員	清 水 登
上席 執行役員	力 石 和 彦
上席 執行役員	高 比 良 満
執行役員	大 津 久
執行役員	大 橋 重 男
執行役員	岩 崎 正 裕
執行役員	三 好 繁 章
執行役員	坪 田 具 也
執行役員	北 村 広 外 志
執行役員	田 中 克 典
執行役員	道 端 順 治
執行役員	佐 々 木 洋 二
執行役員	山 岸 工

- (注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち滝谷政春、河野浩二の両氏は、社外監査役であります。

ダイダネットワーク

30 本店

31 大阪本社

32 天理支店

33 神戸支店

34 京都支店

35 和歌山営業所

36 滋賀営業所

37 岡山支店

38 中国支店

39 山口営業所

40 山陰営業所

41 四国支店

42 松山営業所

43 高知営業所

44 徳島営業所

45 九州支社

46 熊本支店

47 宮田営業所

48 佐賀営業所

49 長崎営業所

50 大分営業所

51 宮崎営業所

52 鹿児島営業所

53 沖縄営業所

11 技術研究所

12 東京本社

13 関東支店

14 横浜支店

15 群馬営業所

16 栃木営業所

17 茨城営業所

18 千葉営業所

27 北陸支店

28 富山営業所

29 福井営業所

19 名古屋支社

20 豊田支店

21 三河営業所

22 長野営業所

23 松本営業所

24 静岡営業所

25 三重営業所

26 岐阜営業所

54 シンガポール支店

55 ホンコン支店

56 マレーシア支店

1 北海道支店

2 帯広営業所

3 函館営業所

4 東北支店

5 青森営業所

6 秋田営業所

7 盛岡営業所

8 福島営業所

9 山形営業所

10 新潟支店

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.daidan.co.jp/>

「ダイダンレポート2015」を発行



ダイダンレポート2015

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD
FONT



ダイダン株式会社

〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000